

持続可能な企業を 目指す健康経営



少子高齢化により生産年齢人口(15歳～64歳)が減少し、人材確保が難しくなるなかで、企業を支えている従業員の存在価値はますます高まっています。限られた労働力を最大化させていくために、従業員が長く健やかに働けるよう健康に配慮した健康経営が注目されています。従業員一人ひとりの健康づくりを推進することが、離職率の低下や従業員のモチベーション向上、休職者の減少など、企業が直面する課題の解決の手掛かりとなっています。

そこで本号では、「持続可能な企業を目指す健康経営」を特集テーマにし、「10年目を迎えた『健康経営』の現状について～健康経営の顕彰制度開始からと今後の展望～」 「メンタルヘルスの観点からみた中小企業の現場で活用できる健康経営の取り組み」 「持続的成長のための健康経営を目指して」の3本の論文を取りあげました。

10年目を迎えた「健康経営」の現状について
～健康経営の顕彰制度開始からと今後の展望～

新井 卓二

01 ●

メンタルヘルスの観点からみた中小企業の
現場で活用できる健康経営の取り組み

関屋 裕希

02 ●

持続的成長のための健康経営を目指して

西尾 紀一／北林 謙

03 ●

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。